2022年度の入試分析
（首都圏編・私立大学）

リクルート進学総研
飯島隆介

RECRUIT

Profile

飯島隆介

リクルート進学総研　研究員

株式会社リクルート入社後、主に首都圏、関西圏の大学の学生募集広報戦略の立案・遂行や、新増設改組、周年記念事業、ブランディング事業、キャンパス移転案件まで幅広く担当。2021年度より、進学総研研究員を兼務。

アジェンダ

0. はじめに
1. 昨年までに起きたこと
2. 今年の結果速報－全体
3. 今年の結果詳細－分野系統別
4. －個別校状況
5. －大学群別状況
6. －3カ年比較
7. まとめ

2022年度入試分析　概要

✓ 集計対象は首都圏の私立65大学。
うち１都３県にキャンパスがある学部のみを対象としています。

✓ 一般入試・共通テスト利用入試の志願状況について、
大学HPで公開された情報（前期・Ａ日程）を基に、
リクルート独自の観点で分析し、
(2022年2月18日時点 ※イブニング・二部等の志願者数は除く)
首都圏募集市場の概観をまとめています。

✓ なお、確定前のデータを一部含むため、
最終結果と異なる場合があることをあらかじめご了承ください。

●私立大学の定員管理厳格化→大規模大学の入学者調整→
不合格者大幅増による受験生不安→滑り止め大学への出願増
この流れでいわゆる「併願バブル」が発生

2019年度まで増加し続けた志願者は、2020年度から減少へ一転

●19年度→20年度の志願者減は、
センター試験利用入試での10%を超える減少が主要因

20年度→21年度の志願者減は、
共通テスト利用入試での継続減少に加え、
一般入試での10%を超える減少も併せて発生

●18歳人口が全国で2万人弱、1都3県で2600人強減少する中、
総志願者（延べ・一般入試と共通テスト利用入試の合計）は2%強の増加

●一般＋共通テストの併用入試の増加率が最も高く、
次いで一般入試が増加、共通テスト利用入試は減少、
全体として2年連続の志願者大幅減から下げ止まり。

RECRUIT

●「法律・政治・政策」「工学・理工学」「理学」の増加と「外国語(英語)」「医学」の減少が目立つ。
全25系統中15系統が過去5年で最少の志願者数の中、「工学・理工学」は過去5年で最大の志願者数まで伸びた。
●13系統が2年連続減少で、2年連続増加した系統はなし。

法律・政治・政策系↑	工学・理工学系↑	**教育↓**
経済・経営・商学・経営情報系↓	理学(物理・数学・化学等)系↑	**保育↓**
社会・マスコミ系↓	農・生命・環境系↑	福祉↓
情報系(文系)↓	獣医・水産・畜産↑	**家政・生活↓**
国際関係・観光系↑	医学系↓	**栄養↓**
外国語系(英語)↓	歯学系↑	表現・芸術系↑
外国語系(アジア・その他)↑	薬学系↑	体育・健康系↑
文学・人文↓	**看護系↓**	**教養・総合系↓**
地理・歴史系↑	**医療技術・リハビリ系↓**	
心理・人間系↓		

前年よりUPした分野　前年よりDOWNした分野　**赤字** 2年連続DOWNした分野

●集計対象65大学の志願者増減の状況は、

志願者増加　27校（うち10～20%増　9校、20～30%増 3校、30%～増 2校）
志願者減少　38校（うち10～20%減 12校、20～30%減 8校、30%～減 5校）
→下げ止まりの中でも、個別校毎にバラつきが出た今回。

●共通テスト＋併用型の増減の影響度が大きい大学の存在。
英語外部検定利用入試の導入校数と志願者の増加が目立つ。

志願者　減	志願者　増
38校 （58%）	27校 （42%）

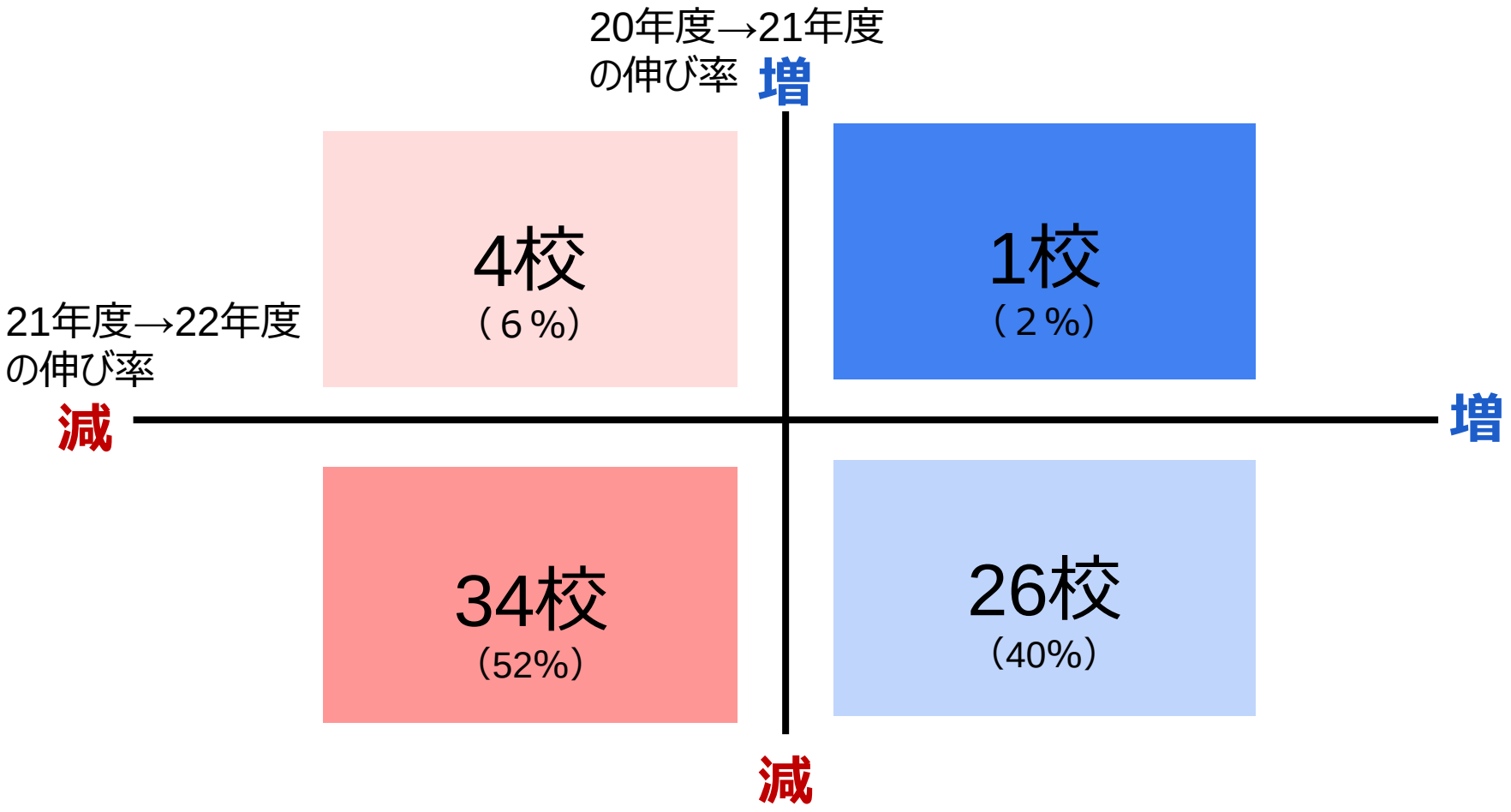
●どのポジションの学校群でも、増加校と減少校があるのが特徴

減少 ← → 増加

減少 計　39,303人			増加 計　59,655人				
		上智大学	慶應義塾大学	早稲田大学	東京理科大学		
	中央大学	立教大学	明治大学	青山学院大学	法政大学		
	明治学院大学	学習院大学	成蹊大学	獨協大学	成城大学	國學院大學	武蔵大学
日本大学	駒澤大学	専修大学	東洋大学				
	大東文化大学	亜細亜大学	国士舘大学	東海大学			
東京都市大学	芝浦工業大学	東京電機大学	津田塾大学	日本女子大学	東京女子大学	工学院大学	

帝京大学は方式別の公表数字がない為未集計

●2021年度→2022年度の伸び率×2020→2021の伸び率で見ると、
2年連続で志願者が増加したのは 1校に対し、
2年連続で志願者が減少したのは34校に及ぶ。



●2019→2020、2020→2021と続いた大幅減が下げ止まった今回

●系統別には「法律・政治・政策」「工学・理工学」「理学」の増加、「外国語(英語)」「医学」の減少が目立つ。

●増加校数＜減少校数
特定大学群での増加減少という傾向はなく、
個別校毎のバラつきが大きいのが首都圏の特徴。
2年連続志願者増は1校に対し、2年連続志願者減は34校(52%)

●一般＋共通テスト併用型の導入校数と志願者が増加傾向

●英検受験者の増加もあり、英語外部検定利用入試の導入校数とその志願者が増加

ご清聴
ありがとうございました。

高校・大学の取り組み事例等はHPに掲載しています。
分野別データ等、詳細結果につきましては、営業担当までお問い合わせください。

リクルート進学総研